

ひろば 大代

No.525

令和5年4月号

大田市の人口
(R5.4.1 現在)
大田市 32,521人
内大代町 302人
男 136人
女 166人

大代まちづくりセンター長に 就任して

就任して

大代まちづくりセンター長

永井利樹

この度 佐藤哲朗センター長の後任としてセンター長を務めることになりました。下市自治会の永井利樹です。佐藤センター長におかれましては平成26年から9年間と言う長い期間のお勤めご苦労様でした。

さて、現在の大代町の問題として一番の課題は人口減少です。少子高齢化は益々進んでいます。

島根県民歌『薄紫の山脈』の歌詞の中で（♪90万の県民の平和の歌は今ぞ湧く・・・）の人口、今は65万人、大代町は昭和30年に1918人（464世帯）、令和5年3月は300人（165世帯）となっていています。子どもについては、4月から小学生5人、中学生4人と減少化が進んでいます。世間はWBCで盛り上がりつつありますが、学校では球技ができなくなっています。町内の活動についても各団体、自治会とも人数が激減して活動が困難になっているのが現状です。

大代まちづくりセンターの活動についても今一度考え直す必要があるのではないのでしょうか。色々のご意見はあります。皆様の意見を聞かせていただき、より良いまちづくりセンターとしたいと思っています。どうか地域の皆様にはご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



入学おめでとう!

高山小 日向翔大さん
大田三中 日向心願さん
大田一中 岡田恵助さん
永井康紀さん

ひなたしょうだいさんに

インタビュー

① 保育園で楽しかったことはなんですか？



★サッカー・おさんぽ

② 大きくなったたら何になりたいですか？

★消防士

③ 小学校で楽しみなことは何ですか？

★きゅうしよく

④ 小学校で頑張りたいことは何ですか？

★さんすう・こくご

がんばれ一年生



本郷 日向 望のぞみ

神楽が大すきで、朝からずっと神楽をしている日向家の長男翔大も、春から一年生になります。

何か楽しいことがあると「あと何回ねたら〇〇があるの？」と聞いてきます。それが私は大すきです。

大きなランドセルを背負ってお姉ちゃんのうちろをついてバス停まで歩きます。地域のみなさまには温かく見守

っていただき、安全運転でよろしくお願ひいたします。翔大！小学校でも楽しくがんばれ。

高齢者通いの場づくり事業

4年目にあたって

大田市地域包括支援センター

田口佳子



「高齢者通いの場づくり事業」は、大田市では平成28年度から開始となります。現在は市内22地区で実施されています。大代地区では令和元年7月の開所から今年で4年目を迎え、皆様にはすっかりおなじみのことと存じます。

この事業では、住み慣れた地域でいっまでも元気に暮らすことを目的に、介護を必要としない概ね80歳以上の高齢者の方を対象として、各地域の方が主体となって集いの機会を設け、「0854-8体操」や健康チェック、趣味・生きがい活動、レクリエーションなど多様な活動を実施されています。また、利用者の介護予防やフレイル

（加齢により心身が古い衰えた状態）予防と併せ、地域ぐるみで支え合う体制づくりの促進も目的としたものです。市内全体の利用者アンケートでは「週1回の会へ出かけることが楽しみ」、「行かなくては！と気持ちの前向きになる」など気持ちの変化や、体力の維持に繋がっているとの意見が多く見られます。

さらには、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通いの場が休止となった期間中にも自主的に散歩などで体を動かし、脳トレなどに取り組みされた方は全体で5割以上もおられ、通いの場への参加を通じた自身の健康に対する意識の変化が窺えました。

大代地区において、利用者の皆様は心身ともに健康を維持しておられることは、1人ひとりの普段からのご努力はもちろん、各組織の皆様をはじめ、この活動を担ってこられた「大代えびすの会」の皆様のご理解、ご尽力が大きく寄与しているものと考えております。

中でも笠井コーデイネーター様、会計担当の佐藤様はじめ、スタッフ・サ

ポーターの皆様が、利用者様の健康・安全を第一に考え、知恵を出し合い生き生きと活動されておられ、頭が下がる思いです。あらためて心より深くお礼申し上げます。

少子高齢化が進む中、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）を延ばすために、引き続き地域ぐるみで本事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

厚生労働省 通いの場ホームページ

<https://kayoinoba.mhlw.go.jp/>

↓ QR コード



本の紹介

明石市巖松堂書店 山根金造

今年1月、第168回直木賞受賞作品が発表されました。

『しろがねの葉』千早 茜 著

新潮社（1600円＋税）

この本は石見銀山を舞台に、女性を主人公とした壮絶なドラマが描かれています。小説の中に、大代町出身者が嬉しくなる「いけん、いけん」、「おぞい、おぞい」などの言葉が出てきます。

本の最後のページに著者が「石見銀山資料館館長の仲野義文さまに多大なるご助力を賜りました。心より感謝申し上げます。」と記しています。ぜひ、ご一読下さい。

（※仲野義文さんは2014年9月発行の「大代町の歴史」の冊子を執筆して下さい方です。）



新年度役員体制（敬称略）

▼まちづくりセンター

センター長 下市 永井利樹

職員 上市 後藤貴子

職員 祖式町 菅森早千子

▼社会教育推進センター（高山）

社会教育コーディネーター 福島真夕子

▼自治会連合会

会長 山田 向井 清

副会長 八反田 森 文雄

副会長 本郷 日向高弘
 監事 平 田邊 隆
 監事 右原 齊藤和憲
 会長 山田 向井 清

副会長 椿 花田正寛
 副会長 川上 笠井節夫
 会長 弓久 大場清志

代議員 植松 小笠原恵功
 代議員 四日市 西本一廣
 代議員 下谷 竹間政親
 代議員 柿田 谷口俊二

代議員 上飯谷 武田尚彦
 代議員 下飯谷 飯田 徹
 副会長 山田 向井 清

副会長 山田 向井 清
 監事 上市 谷口 勝

副会長 山田 向井 清
 監事 下市 佐藤哲朗

副会長 下飯谷 高村 清
 副会長 八反田 林 正彦

副会長 八反田 森 文雄
 会長 右原 齊藤和憲

◎転出

副会長 八反田 茶円武志
 ▼大田市農業委員 山田 武田廣司

▼大代まちづくりセンター
 センター長 佐藤哲朗 辞職

▼社会教育推進センター(高山)

社会教育コーディネーター 横田良子 辞職

▼大田市立高山小学校から

教諭 重田満登香 大田市立長久小へ

主事 佐藤誠治 浜田市立三階小へ

学校司書 蓑代江里 大田市立大森小・久屋小へ

▼大田市立第三中学校から

教諭 藤井義行 大田市立志学中へ

教諭 坂本昌士 江津市立江津中へ

学校司書 蓑代江里 大田市立大森小・久屋小へ

教諭 野田美乃 辞職(県外転出)

非常勤講師 丹波 滋 辞職

非常勤講師 高橋宏枝 辞職

◎転入

▼大代まちづくりセンター

センター長 永井利樹 採用

▼社会教育推進センター(高山)

社会教育コーディネーター 福島真夕子

社会教育推進センター(東部)より



▼大田市立高山小学校へ
 主事 小林佳未 大田市立静間小より
 学校司書 小野美由紀 大田市立第一中より
 (大田三中兼務)

▼大田市立第三中学校へ

教員 神田伊知郎 出雲市立湖陵中より

教員 三宅美与子 邑南町立羽須美中より

教員 宮原剛正 大田市立北三瓶中より

学校司書 小野美由紀 大田市立第一中より
 (高山小兼務)

非常勤講師 吉田満壽美 採用

非常勤講師 後藤貴子 採用

5月行事予定

▼11日(木) 狂犬病予防集合注射

▼14日(日) 福祉弁当

▼15日(月) 肺がん・結核検診

▼22日(月) 連合自治会

▼11日・18日・25日(木)

えびすの会 9時半～11時半

※行事は延期・中止になる場合があります。

|| 大代地区社協よりお知らせ ||

川上 渡井 潔 様より
 香典返しにかえ御厚志を頂きました。
 厚くお礼申しあげます。

|| 俳句 ||

あすなる句会

下市 今田文子

菜の花に母の想い出里を訪ふ

花見会隣の人の優しさよ

川上 岩田律枝

支へられ老後を歩む花吹雪

独り居や癒さるる日々ほうほけきよ

は 上市 横田美恵子

花ふぶき仲間と食ぶるにぎり寿司

花びらの舞い散る歩道日暮れ時

